



はらじゅくかわら版

独立行政法人 国立病院機構

横浜医療センターの理念

私たちは、患者さまの人権を尊重し、思いやりの心をもって安全で納得していただける**患者様中心の医療**を目指します。

私たちは、急性期の地域医療を基盤として質の高い総合的な専門医療を提供すると共に、関係医療機関と密接な連携をもつ**地域完結型医療**を目指します。

私たちは、健全な病院経営を心がけ、患者様がより良い医療が受けられ、**地域で選ばれる病院**になるべく日々努力していきます。



関口庶務班長 撮影

第29号 目次

院長の言葉	1
副院長就任挨拶	2
行事紹介	
メモリアルデーに講師をお招きして	3
APECテロ対策訓練参加	
神奈川県内国立病院機構の施設見学を通して	4
防災訓練での体験	
お知らせコーナー	
正面出入口の変更について	5
看護学生募集のお知らせ	6
職場紹介	
救命救急センター・ICU	7
地域医療連携	
病診連携施設紹介	8

医師の人事異動	9
ボランティアをしてみませんか	
症例検討会・研究会開催のお知らせ	
平成23年度 看護職員募集のお知らせ/編集後記	10
外来担当医表	11

発行月：平成22年7月
 発行：独立行政法人国立病院機構
 横浜医療センター 広報委員会

発行責任者：高橋 俊毅
 住所：横浜市戸塚区原宿3-60-2
 電話：045-851-2621
 FAX：045-851-3902
 URL：http://www.hosp.go.jp/~yokoham/



●当院携帯サイトはこちらから

院長の言葉

— 新病院は順調に稼働しています —



院長 高橋 俊毅

平成22年1月29日に施工者の大林組より引き渡しを受けた新病院では一気に電子カルテまでの新しいハード、ソフトの導入を目指しました。職員も長期にわたる導入の努力を実現するため3度にわたる総合訓練（リハーサル）を行い稼働に備えました。3月30日に最も心配していた214名の入院患者さまの移転は約3時間と予定の60%の短時間で無事完了しました。この日から電子カルテ環境での病棟業務を開始しました。そして4月5日（月）から外来業務及び手術業務も開始しました。こうして新病院の診療体制が開始されたわけです。しかし新人職員が多くまたすべてのITが順調ではなく問題も出てきましたが研修と協力と創意工夫の連続で乗り切ってきたと思います。国の医療界では同じく4月に「医療崩壊の危機」が叫ばれる厳しい医療情勢の中でようやく実施された平成22年度診療報酬改定の勤務医対策が本質的な勤務医の労働条件や病院医療の改善となり皆様への医療サービスの向上につながって欲しいものです。また、2年前に国から地方移管された神奈川県保健医療計画では、がん、糖尿病、急性心筋梗塞、脳卒中などの疾患や救急医療、小児医療、周産期医療、災害医療などの事業に二次医療圏内での病院や診療所との連携での効率的な医療提供体制整備が要請されています。他の施設に先駆けてのがんや糖尿病の地域連携クリティカルパスの運用などこれらはまさしく独立行政法人化で当センターが取り組んできたものであります。これらを誠実に実行すべく努力しています。平成22年4月からは横浜市南西部地域中核病院に認定され免震7階建て510床、電子カルテ運用、救命専門医9名の救命救急センター、小児科医師13名のNICU・GCU10床を持つ地域周産期母子センターの本格的稼働など地域のご要望に応えられる多機能でコンパクトな新病院での診療を行っています。この3ヶ月間は慎重に新病院の機能アップを図ってきましたが今のところ予想以上に順調に経過しています。当センターとしては今後も提供する医療のさらなるレベルアップを目指し、医師はじめ多くの職員を確保し、充実した職員研修体制と共に医療現場でのさらなるサービス改善に努めます。これまでも救命救急センターを核として地域医療や救急医療に貢献する「断らない病院」「地域で選ばれる病院」を目指して努力してきました。今後もさらに「患者中心」、「地域完結型医療」、「チーム医療」、「情報公開」など当院の基本理念を誠実に実践し、地域の関係医療機関や行政とも密に連携して究極的な目的である提供する「医療の安全と質」の向上に積極的に取り組みます。今後も当センターへのご支援ご鞭撻をお願い申し上げます。



副院長就任挨拶

4月に副院長として帝京大学医学部附属溝口病院(麻醉科)より赴任しました。横浜は私にとって地元であり、子供が小さい頃にはドリームランドに遊びに来たことも何度かありました。また当院には国立横浜病院時代に義理の両親も患者としてお世話になっていたこともあり、このたびの異動も何かの縁と思われ、こちらの病院で働けることを大変うれしく思っております。



副院長 工藤 一大

当院はこの4月より新設なった建物で診療を開始しました。私自身真新しい病院で毎日新鮮な気持ちで仕事をしており、職員一同も念願がかない生き生きと働いています。

しかし、建物以外はまだ工事中で、駐車場は旧棟解体工事中の為狭く入口とも遠くなっており、患者様の通院等に大変ご不便をおかけしており申し訳なく思っております。道路から病院への出入口を移動しましたが、これからの予定としましては、本年11月末には旧棟解体工事終了及び外構工事完成し、12月には570台収容可能駐車場が使用開始となり、いよいよグランドオープンする予定です。それまでは、皆様のご理解ご協力をよろしくお願い申し上げます。

建物は新しくなり、設備面も充実してきました。今後は内容の充実が課題であり、今以上に医療安全、診療の質の維持・向上への努力が重要と考えております。その一環として、日本医療機能評価機構の病院機能評価Ver. 6更新審査を受けるための準備を進めてまいります。

職員一同と協力してよりよい病院とするべく努力していきます。

今後とも何卒よろしくお願いいたします。



行事紹介

—メモリアルデーに講師をお招きして—

医療安全管理室 小林 洋子

4月13日は当院のメモリアルデーにあたり、今年度はめぐみ在宅クリニック院長小澤竹俊先生をお招きし「苦しむ人と向き合うために」というテーマで講演をして頂きました。

小澤先生は医療に携わるばかりでなく「13歳からのいのちの授業」など多くの著書を出版されると同時に、医療施設や学校などで講演活動もされています。当日は259名と多数の出席者が集まり、講演内容はドラマのワンシーンや音楽を取り入れるなど、これまでにない工夫が凝らされあつという間の90分でした。

医療現場では苦しむ患者さんを前に、その人のことを思えば思う程、何もできない無力さに苦しむ医師や看護師がいます。ともすると現実から目を背け逃げ出したい衝動に駆られる事すらあるでしょう。しかし無力で良いと思えた時、医師と患者の縦の関係から人対人としての横の関係を築くことができる、という小澤先生の言葉が印象的で、これからの仕事に対する勇気を与えられました。相手の苦しみを和らげることは出来ないけれど苦しむ人に寄り添い、支えの一つになっていければと感じた講演でした。



APECテロ対策訓練参加

平成22年6月24日、横浜市消防訓練センターにおいて、横浜市消防局によるAPECテロ対策訓練を実施した。当横浜医療センターから横浜救急医療チーム(YMAT)として山本救急救命センター部長と菅原看護師が参加した。

今回参加の横浜救急医療チーム(YMAT)は、当横浜医療センター、聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院、横浜市立大学附属市民総合医療センターの3チームで、横浜市消防部隊と連携をし、複合用途ビルで爆発テロが発生したと想定し、多数の要救助者の救助、収容することの訓練を行った。

当日、初夏の晴天下の中、消防車、救急車数十台、訓練参加延べ200名ほどが消防訓練センター訓練設備を被災ビルに想定し緊迫した状態で訓練が行われました。当院チームは、瓦礫の下の要救助者の救急処置、救護所での負傷者の処置等を行い、本番さながらの成果を上げられたと思います。



行事紹介

神奈川県内国立病院機構の施設見学を通して

1年生 狩野 怜奈

今回、私たち一年生は国立病院機構の医療及び看護の特徴を知る為、神奈川県内の4つの施設見学に行ってきました。精神科を主とする久里浜アルコール症センター（WHOアルコール関連問題研究・研修センター）、免疫異常（リウマチ・アレルギー）の高度専門医療施設に位置づけられている相模原病院、神経疾患を主とした慢性期の患者さまにメディカルリハビリテーションを行い「疾患と共生する人生への支援」を目標としている箱根病院、重症心身障害医療や結核医療等の政策医療を主とする神奈川病院でした。

私は今まで、在院期間が短い急性期の患者さまを対象とした病院しか知りませんでした。今回の施設見学で、長期療養が必要な患者さまのための病院や、専門的な治療を行う病院があり、看護師の活躍の場がこんなにも幅広い分野にわたっていることを初めて知りました。これから看護師を目指す私たちにとって視野を大きく広げ、将来に役立てることができる見学となりました。

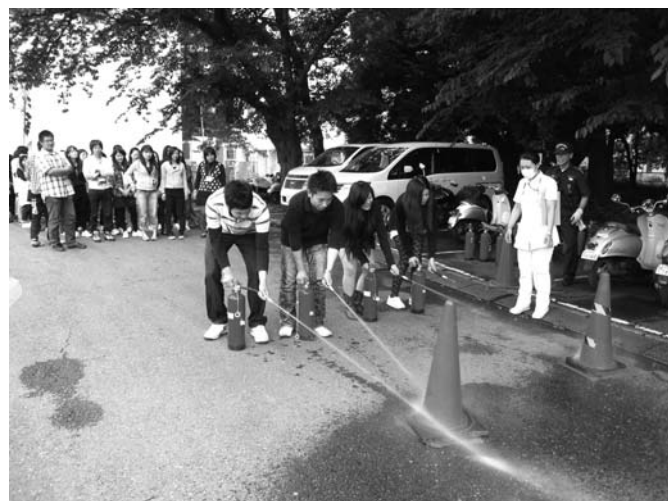
防災訓練での体験

1年生 林 恵鶴

防災訓練では、消防士さんが来校し、煙ハウスでの煙体験や消火器での消火体験、消火栓の取り扱い方法や起震車での地震体験を行いました。

煙ハウスの中は、煙により一面真っ白でした。そこで、「火災時、出口が分からない時は姿勢を低くし、壁をつたって歩いてください。」という事前に受けた消防士さんの説明を思い出し、壁に向かって歩きました。しかし、壁までが非常に遠くに感じ、何も見えない状態で前に進むことの怖さを実感しました。また起震車では、震度5～7まで体験しました。震度7では身動きがとれず自分の体を支えるのがやっとで、声も出ませんでした。

防災訓練を通して災害時に自分の身を守るためには、消火器や消火栓のホースの取り扱い方法の知識を得ておくこと、地震に備えての避難経路の確認、緊急用の食料などを入れたバッグを用意するなど対策をとっておこうと思います。これからも、訓練に真剣に取り組み、実際の災害に備えたいと思います。



お知らせコーナー

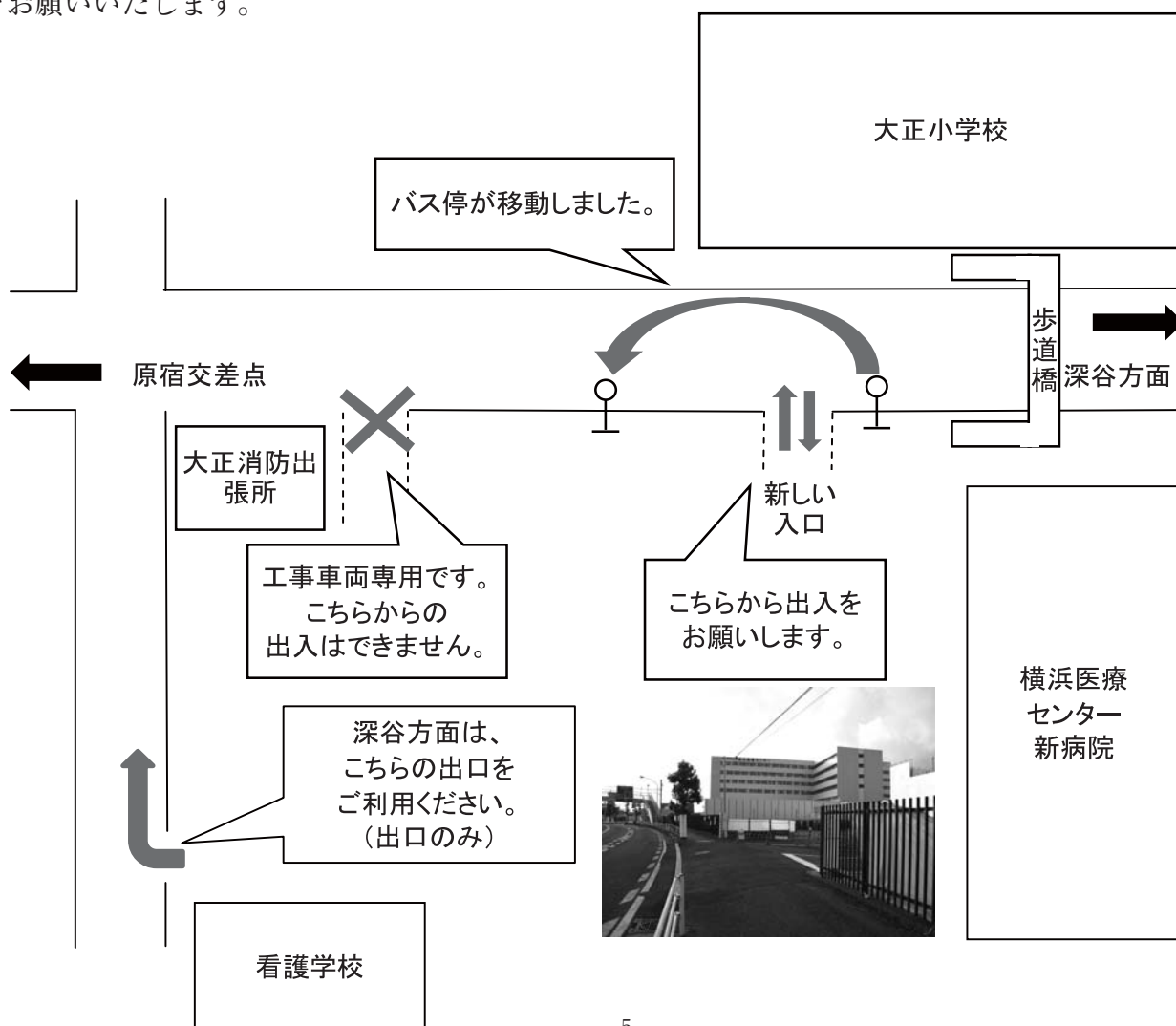
正面出入口の変更について

新病院の開院に伴い、平成22年5月31日（月）から、車両も含め正面出入口が変更いたしました。従来の出入口（大正消防署横）は当面の間、工事車両専用の出入口とし、一般車両の出入りはできません。

なお、新しい入口には今年度中には信号機が設置される予定です。それまでの間、ご不便をおかけしますが、車両での出入りの際には十分ご注意ください。特に、病院から右折でお帰りになる際（深谷方面）には、看護学校側出口をご利用いただきますようお願いいたします。

また、戸塚バスセンター、大船駅、藤沢駅方面のバス停も平成22年5月31日から、場所が変更となっておりますのでご注意ください。（俣野公園・横浜薬大前、ドリームハイツ、立場ターミナル方面のバス停はこれまでどおりです。）

現在、旧病院の取り壊しおよび外構工事を行っております。11月末までにはすべての工事を終了する予定です。工事にあたり、近隣にお住まいの皆様やご来院の皆様には、極力ご迷惑をおかけしないように十分に注意してまいりますので、引き続き、ご理解とご協力をお願いいたします。



看護学生募集のお知らせ



独立行政法人国立病院機構

横浜医療センター附属横浜看護学校

看護学生募集

推薦・社会人入試：平成22年10月30日(土)

一般入試：平成23年 1月20日(木)

		願書受付期間	受験科目
一般入試		H22.12.14(火) ~ H23.1.14(金)	学科：国語総合(現代文) 英語 I・II 数学 I 面接
社会人入試		H22.10.6(水) ~ H22.10.20(水)	国語総合(現代文) 面接
推薦 入試	指定校制		小論文 面接
	公募制		国語総合(現代文) 面接

学校説明会

お電話、Mailで、事前にお申し込み下さい

第1回	7月24日(土)	【公開講座】
第2回	8月 5日(木)	
第3回	8月30日(月)	【公開講座】
第4回	9月25日(土)	
第5回	10月 9日(土)	【楓葉祭】
第6回	12月 4日(土)	【公開講座】

【住所】〒245-0063 横浜市戸塚区原宿3-60-2

【問合せ】TEL：045 (853) 8322

【HP】<http://www.yokohama-ns.com/>



職 場 紹 介

●今回は救命救急センター・ICUの紹介です。

救命救急センター・ICU

「受けます!!3次救急!!! 的確なスキルで命を守り、救急・重症患者に対する最善の看護を提供できるエキスパートナースを目指そう!!」

2010年4月、救命救急センターは拡大されたICU10床を含む30床の救命救急センターとして、新たな1歩を踏み出しました。救急科医師が9名に増員され、看護師は新人看護師14名を含む63名が救命救急センターで働いています。

突然の病気や事故による救急患者さんや、大手術後に集中治療が必要となる患者さんご家族に対し、安心して治療・看護が受けられるよう医師・看護師・その他多くの医療スタッフが丸となって、日々努力しています。

また、年間4500台を超える救急車の受け入れをさらに充実させるために、新たに初療室がオープンし、救急患者さんに対する医療・看護の質の向上を目指しています。



ICU



初療室



救命救急センターの仲間たち

地域医療連携

病診連携施設紹介 下倉田ハートクリニック

診療科目：内科・循環器内科

こんにちは。下倉田ハートクリニックの院長の悦田と申します。このたびは広報誌に取り上げていただき、とても光栄に思っています。広報誌をお読みの皆様、医療センターのスタッフの皆様、今後ともよろしくお願いたします。



私どものクリニックは一昨年(2019年)の12月に下倉田町(豊田中学校の傍です)にオープンした、内科・循環器内科を標榜する診療所です。ハートクリニックは「心臓」という意味から付けましたが、皆様からハートフルな病院と思っていただけるようにもがんばりたいと思っています。

勤務医時代は心筋梗塞や心不全など、循環器疾患の救急患者さんの受け入れやカテーテル治療を主にやっておりました。これまでの救急医療の経験を生かして、今後は心臓病や脳血管障害の予防と早期発見のためにお役に立てればと考えています。

開業してからは、糖尿病、高血圧、不整脈などの、自分の専門としてきた病気以外に、風邪、胃腸炎、排尿や排便に関する悩み等々、日常のいろいろな病気のお世話をさせていただいています。かかりつけ医として、患者さんの病歴や専門医にかかっている疾患などもきちんと把握しておく必要があり、患者さんとトータルにお世話することの責任の重大さとともに、一般内科医としての仕事の醍醐味も感じております。

十分なコミュニケーションのためには、診療所での待ち時間はなるべく短く、まずは患者さんに自由にお話していただけることが大切かと思えます。そのために、なるべく予約をとって頂くようお願いしております(予約なしでも診療は受けられます)。院内設備や詳しいことはホームページもご覧いただくと幸いです。

新病院となり更に機能が向上した横浜医療センターが、地域中核病院として存分に力を発揮していただくためにも、病院と診療所との連携を密にしていきたいと思えます。皆さま方のご意見を賜りながら、地域医療の向上のためにこれからも努力していきたいと思えます。



下倉田ハートクリニック

〒244-0815 横浜市戸塚区下倉田町9-4-5-1
TEL: 045-869-0381 FAX: 045-869-0382

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	●	●	●	/	●	▲
午後 3:00~ 6:00	●	●	●	/	●	/

休診日 木曜・土曜午後 日曜・祝日

診療時間の20分前から受付いたします。

▲土曜は12時半まで受付いたします。

※電話予約も承っております。

医師の人事異動

発令年月日	発令	職名	氏名	前施設	発令年月日	発令	職名	氏名
22.6.1	採用	消化器内科医師	中尾 絵美子	東京女子医科大学八千代医療センター	22.5.31	退職	消化器内科医師	則竹 里奈
22.6.1	採用	眼科医長	木村 正彦	東邦大学医療センター大森病院	22.5.31	退職	消化器内科医師	高橋 麻依
22.6.1	採用	皮膚科部長	天羽 康之	北里大学	22.5.31	退職	皮膚科部長	高須 博
22.6.2	採用	呼吸器外科医師	正津 晶子	横須賀共済病院	22.6. 1	退職	麻酔科医師	岩岡由紀子
22.6.2	採用	麻酔科医師	大膳 和華	大和市立病院	22.6. 1	退職	呼吸器外科医師	山仲 一輝
					22.6. 1	退職	循環器科医師	加藤 丈二
					22.6.30	退職	救急科医長	藤田 誠一郎

だんしんたふを
 せんか

活動内容

- ・インフォメーション（案内）
- ・本の整理
- ・車椅子使用者の介助



活動曜日と時間

- ・月曜日～金曜日（休日を除く）8:30～17:00 2～4時間程度

心構え・その他

- ・ボランティアは心身ともに健康であることが大切です。
- ・ボランティアは16歳以上の方が対象です。
- ・患者さまのプライバシーを守りましょう。
- ・病院の規則や指示に従って活動します。
- ・制服、休憩室はご用意致します。
- ・交通費・食費は自己負担になります。



病院ボランティアとは

- ・病院内で、病院職員と協力し合い、患者さまが安全で安楽に入院生活が送れるように、自発的に無報酬で奉仕活動をする人のことです。
- ・医療に関する専門的な知識がなくても、ボランティア自身の経験や技術を活かした活動、誠意ある心からの活動ができることがボランティアです。

横浜医療センター症例検討会・研究会開催のお知らせ

西横浜整形外科症例検討会

開催日時 毎月第3木曜日 午後7時～
 開催場所 当院大会議室
 連絡先 日塔整形外科部長
 045-851-2621（代）

横浜藤沢消化器疾患研究会

開催日時 奇数月第2月曜日 午後7時～
 開催場所 当院大会議室
 連絡先 小松臨床研究部長・松島消化器科部長
 045-851-2621（代）

各症例検討会・研究会にご興味をお持ちの先生は、どなたでも参加を歓迎いたしますので、ご連絡下さい。

平成23年度 看護職員募集のお知らせ

1. 募集人員

□看護師：85名 □助産師：15名

2. 応募資格

平成23年3月に看護師または助産師の資格取得見込みの方
看護師、助産師の資格を有する方



3. 採用試験日

当院：統一試験日 平成22年8月25日（水）

※第2回目以降は、随時行いますので、病院にお問い合わせください。

福岡・宮崎・鹿児島会場：平成22年8月28日（土）

函館会場：平成22年9月4日（土）

4. その他

当院の最新情報につきましてはHP、
携帯モバイルサイトからアクセスできます。



●お問い合わせ●

TEL：045-851-2621

FAX：045-851-3932

ホームページ：<http://www.yokohama-mc.com>

（担当）横浜医療センター 管理課給与係長 高山

TEL：045-851-2621

E-mail：3133jy01@hosp.go.jp



編集後記

「光陰矢のごとし」と申しますが、月日が流れるのは早いもので、新病院に生まれ変わり、3カ月が過ぎました。今、そう考える事が出来るのは、おかげ様でその間、大きな事故がなく経過する事が出来たからだと思います。しかし、診療は新病院で行っているものの、旧病院の取り壊し、駐車場の整備等の工事は、11月末の完成を目指し進行中です。スタッフ一同、その時を心待ちにしておりますが、その時も、同じ気持ちで迎える事が出来れば何よりだと思います。それまで、皆さまには、ご迷惑をお掛け致しますが何とぞご理解、ご協力をお願い致します。

医療社会相談員 高瀬 昌浩



診療科・曜日	月	火	水	木	金	備考		
外来受付A	小児科	鈴木 陽一 本井 宏尚 矢竹 暉子	菅井 和子 山澤 隆一 増田 由香	菅井 和子 小張 真吾 及川 茂輝	鈴木 陽一 石橋 麻由 塩谷 裕美	小林 慈典 亀田 聡子 小郷 寛史		
	心臓血管外科	金子原 幸宏	手術日	東館 雅文	東館 雅文	東館 雅文	木曜日は予約患者のみ(新患受付無し)	
	形成外科	村下 一晃 伊藤 秀憲	伊藤 秀憲	手術日	村下 一晃	伊藤 秀憲		
	整形外科	国府 秀俊	日塔 寛昇	国府 秀俊	日塔 寛昇	安羅 有紀		
		武山 益子	柳澤 正之	藤巻 洋	柳澤 正之	武山 益子	紹介状お持ちの方も10時までに受付してください。	
藤巻 洋		国府 秀俊	小林 洋介	安羅 有紀	小林 洋介			
総合内科外来	交代医師	野本 文子	交代医師	交代医師	交代医師	※予約患者のみ。		
外来受付B	糖尿病 内分泌内科	高木 佐知子	山口 勇人	宇治原 誠	宇治原 誠		▲:紹介状持参の方のみ ■:午後の予約のみ	
	神経内科	上木 美人	室橋 洋子	検査日	遠藤 雅直	高橋 竜哉		
	腎臓内科	松下 啓			松下 啓			
	呼吸器内科	濱 雅文	検査日	山川 泰	検査日	榎原 基史 ■山根 章(肺結核)		
	消化器内科	▲交代医師 (初診のみ)	中尾 純美子(初診)	小松 達司(初診)	松島 昭三(初診)	野登 はるか		小松 達司
			鈴木 大輔 ■小松 達司	松島 昭三	野登 はるか ■小松 達司			
	循環器内科	内田 吉枝	岩出 和徳	田中 直秀	▲田中 直秀(午前)	岩出 和徳		
	リウマチ科	初診:交代* 曾我 隆義	初診:田中 宮城 理美子	初診:岩出 検査日	初診:岩出 宮城 理美子	初診:網代 曾我 隆義		《循環器科新患当番医》*(月)第1・2[田中]・第3・4・5[岩出]
	外科	清水 哲也	関戸 仁	松田 悟郎	関戸 仁	急患のみ(交代医師)		
		佐藤 渉	行田 悠	一万田 充洋	清水 哲也			
中山 岳龍		原田 信吾	行田 悠	佐藤 渉				
呼吸器外科		椎野 王久		正津 晶子	坂本 和裕 正津 晶子 椎野 王久	ご紹介については外来日以外でも随時受け付けておりますので、直接ご連絡ください。		
脳神経外科	急患のみ (手術日)	▲ 交代医師 ※(脳ドック)	郭 樟吾 ※(脳ドック)	急患のみ (手術日)	藤津 和彦 市川 輝夫 ※(脳ドック)	▲:第1・3・5週(火)岡田 富 第2・4週(火)宮原 宏輔 ※詳細はPM2:00~5:00の間に「医事 脳ドック受付」までお問い合わせください		
外来受付C	耳鼻咽喉科	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸	佐々木 祐幸 手術日		
	眼科	清水 康平	清水 康平	清水 康平	清水 康平		(受付) 初診・予約外再診とも 月・水・木曜日 8:30~10:00 火曜日は新患(要紹介状)・急患のみとなります。8:30~9:30 紹介状お持ちの方も10時までに受付してください。	
		木村 正彦	木村 正彦	木村 正彦	木村 正彦	手術日		
泌尿器科	本田 直康	本田 直康	手術日	奥野 紀彦	本田 直康			
皮膚科	奥野 紀彦※	奥野 紀彦※			笹本 治子	※外来時間は11:00~12:00まで		
	天羽 康之 谷口 友則	天羽 康之 谷口 友則	天羽 康之 手術日	天羽 康之 谷口 友則	天羽 康之 谷口 友則	水曜日午後は手術の為、入院患者の依頼はお断りしています。 至急診察が必要な場合は、電話をお願いします。		
外来受付D	心療内科	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	心理検査	初診は一般・小児心身症のみ。要紹介状。1日1人まで。 ※月~金:初診の方は10時までに受付を済ませて下さい。(要紹介状、1日2名の予約制) 初診は左記の再診担当医以外の医師が診察します。詳細は精神科外来にお尋ねください。	
	産婦人科	向田 一憲	後藤 美穂	窪田 与志	乗杉 輝彦	中村 秋彦		
	産科	窪田 与志	長谷川 瑛	小島 津哉	神保 覚子	向田 一憲		
	歯科口腔外科	塩入 重彰 (再診のみ)	塩入 / 片岡 (午前初診・午後再診)	入院手術日	塩入 / 片岡 (午前初診・午後再診)	塩入 / 片岡 (再診のみ)	初診は、火・木曜日8:30~10:00。初診急患は随時受付(紹介状から直接連絡ください)。 再診は完全予約制。再診急患は電話をお願いします。 初診:可能な限り、紹介状又は診療情報提供書を持参して下さい 詳細については歯科口腔外科部長にお問い合わせください。	
(専門外来)	小児科	アレルギー検査	感染免疫・アレルギー (小林)	アレルギー(菅井)	フォローアップ外来 (小郷)	13:30-14:30予防 接種(交代制)		
		シナジス(10~3月) (交代制)	フォローアップ外来 (矢竹)	アレルギー(藤塚)	アレルギー(交代医師)	神経外来(増田/ 亀田)		
		アレルギー(菅井)	腎臓外来(長瀬) フォローアップ外来(及川)	アレルギー(塩谷)	アレルギー(交代医師)	循環器外来(鈴木)		
		アレルギー(鈴木)						
	整形外科		スポーツ整形外科(国府)				毎週15:00~16:00	
	神経内科		頭痛外来	物忘れ外来			地域連携室を通して完全予約制	
	糖尿病 内分泌内科	糖尿病連携バス外来						
	麻酔科		ペイン・緩和外来				地域連携室を通して完全予約制	
	外科			スキンケア外来第 2・4週(※)	乳がん検診(※)		(※)完全予約制	
	循環器科			パースメーカー外来				
精神科		物忘れ外来				初診には紹介状が必要。1日2名の予約制。		
産婦人科		助産師外来(午前)		助産師外来(午前)		第2週、第4週のみ。		
	母親教室(※)	母乳外来(午後)	母親教室(※)	母乳外来(午後)		(※)午後のみ。夫立会教室は第2、4週土曜日、第3週日曜日。		
放射線科		菅川 由美子 注⑦	幡多 政治 注⑧			※注⑦13:30~15:30【完全予約制】 ※注⑧9:00~11:00【完全予約制】		

初診 受付: 平日 8:30~10:00
再診 (予約外) 受付: 平日 8:30~10:00
休診 日: 土曜・日曜日・祝日・12月29日~1月3日
地域医療連携室(脳ドック受付)(TEL 045-853-2331)

※急患は随時受け付けます。来院前に病院にご連絡下さい。(TEL 045-851-2621)
※紹介状又は、診療情報提供書をお持ちの方は、外来受付窓口にご提示下さい。
※地域医療連携室 TEL 045-853-8355 (月~金 8:30~17:00)
TEL 045-851-2621 (時間外、土・日・祝日)
FAX 045-853-8356

お知らせ 色つき部分が変わ箇所となります。ご確認の上受診ください。

(写真右)

戸塚は江戸時代には東海道の宿場として栄えており、旅籠の数も小田原に次ぐ所で江戸より10里、小田原まで10里と中間点にあるため、江戸を朝立ちして戸塚で泊まり翌朝小田原に向かって出発するので大変賑わった町でした。
又、現在の戸塚消防署とスルガ銀行戸塚支店の間は大商店が立ち並び、旅籠や遊廊等が点在していました。



江戸時代の戸塚・見附宿